慶応大学法学部入試・B方式

面接試験の概要レポート

2003年に受験しK君が作成してくれたものです。

★面接について

聞かれたコト：
- 何故慶応法なのか。
- 将来やりたい事との慶応とのつながり。
- よんだ本
- 国際政治についての話が主でした。

以下に覚えてるだけ書きつらねます。

(面) 何故当学部をえらんだのか。 → (僕) 関意していたコトをいった。

(面) 将来は国連やNGOなどで働きたいというが、なぜNGO、NPOか？

→(僕) 政治、経済、文化などを統合した学会としてとらえることが近年ムズかしくなってきている。そういったなかでその主内を把握する必要があり、NGO NPOは新しい社会にかかせないだろう。平和をつくっていくのはこういう型だ。

(面) 平和とはどういうこと？民主主義とか？独裁下でも平和はあるよね

→(僕) 君のいう民主主義や、人権など確かに必要だ。僕のめざしているのはみんなが豊かな生活をおくれる社会。それを支えるのはそういった社会的な構造だとは思うが、僕は平和を希求する気持ちをもつことは重要だと思う。

(面) 日本は平和ですか？今はとても危険だと思うが。特に北朝鮮に対してはどうするか？

No. Date

→（僕） 日本は今危機的状況にあると思う。そうした中で
あえて平和路線をすすめるべきだ。9条をもって、
世界にこの政策を示すべきだ。北朝鮮に対しては
全力中の太陽政策を見ならって、対話をつづけなくては
いけない。

→（面（いぢわるな方））あなたは平和主義をとりますが、同じようなことを言っていた
女性（辻元さん）は今は自分を守るためにボディガードを
つけてます。これは武力で身を守ってるんですよね。
どう思いますか？

→（僕）。国家間での話と、個人の身を守る話とは違うコトだ。
（はっきりいった。質問が変だと思ったので）

（面）今回連内で分裂してます。国連は役に立つのでしょうか？

→（僕）たしかに資金はないし、分裂もある。だが、平和をつくっていく
ためには国を超えた力も一方で必要だ。

（面）。金子郁容さんの本を読んだのですね。（ボランティア＝もう一つの情報社会）
なぜボランティアは必要なのですか。

（僕）彼らは献身や偽善ではない。「ありがとう」と言いあえたり、
するだけのために、できるということを学んだ。
「つながり」をつくっていくネットワークがボランティアだ。
社会的弱者という大きなシステムに現代人はくみこまれ
ているが、その中でのつながり、リアリティが失われている時代。
「つながり」が社会を変える力になると思う。

以上です。

（面接）を通して思ったコト。

まず入っておどろいたのは、おじさん達が宴会してるみたいな
雰囲気だったことです。ガヤガヤして、ぜんぜん緊張する
必要がなかったです。

Date . . No.

- 僕の言う1人に対して、いちいち反対するような1人ばっかいってくるので、すっごく不安になります。でも、やっぱり自分の考えをはっきり言った方がいいんだなと思い、そうしました。

- スンダイの模擬面接も役に立ったのですが、あんなにおごそかな雰囲気ではないです。
僕はわざわざ学ランのカラーまでつけて行ったのですが中にはジーパンの人もいました。(その人がどうなったかは知りません)

- 調書記入30分はギリすぎます。そうとう準備していったのですがそれでもギリギリでした。
ちなみにスンダイの模擬の用紙は完璧でした。
コピー度

以上です。